

5月1日は「さいたま市民の日」

さいたま市を読む



都市の利便性と豊かな自然が調和するまち・さいたま市。
歴史や見どころをたっぷりご紹介します。

5月1日は「さいたま市民の日」

市民のみなさんが、郷土であるさいたま市の歴史や文化に親しみ、市民としての一体感とまちづくりに自ら参画する意識を高め、魅力ある本市を将来にわたって創っていくことを期する日として制定されました。

歴史を知る

『さいたま市史』

さいたま市 2017年～
2022年4月現在、「鉄道編」「自然編[1]気象・地形・地質」
「自然編[2]植物」「自然編[3]昆虫類」が刊行されています。

『さいたま市の歴史と文化を知る本』

青木義脩／著 さきたま出版会 2014年

『地図で見るさいたま市の変遷』

～明治・大正・昭和・平成の4代120余年の歴史が読める～
日本地図センター 2003年

『新しいさいたま市の歴史 複製版』

青木 義脩／著 大宮郷土史研究会／編
さいたま市立中央図書館 2008年



『さいたま市の100年 写真が語る』

いき出版 2021年

『さいたま市地名の由来 地名からわかること』

青木義脩／著 幹書房 2013年
普段何気なく目にしているさいたま市の地名。なぜこの漢字？
なぜこの読み方？ 地名に隠された謎から、さいたま市の歴史
が見えてくる。

『さいたま市の昭和 写真アルバム』

いき出版 2013年
個人所蔵の写真から選りすぐりの600枚を厳選し、地元専門
家の解説を加えた大判写真集。懐かしきあの頃の思い出が今、
よみがえる。

見

どころ満載



『てっぱくにいこう！ 鉄道博物館完全ガイド』
小学館クリエイティブ 2019年

『サッカーのまち さいたま

我々のまちにはサッカーの歴史があります』

八木理英／絵 一般社団法人Jリーグの理念を実現する
市民の会 2020年



『さいたま市岩槻人形博物館

コレクション名品選』

さいたま市岩槻人形博物館／編集

さいたま市岩槻人形博物館 2020年

『大宮盆栽村クロニクル』

宮田一也／著 アーカイブス出版 2008年



さいたま市ゆかりの文学者たち

さいたま市図書館では、児童文学者の石井桃子氏・瀬田貞二氏、
歌人の大西民子氏の著作や関連資料を収集しています。

『ノンちゃん雲に乗る』

石井 桃子／著 中川 宗弥／画 福音館書店 1967年

『絵本論 瀬田貞二子どもの本評論集』

瀬田 貞二／著 福音館書店 1985年

『まぼろしは見えなかった 大西民子随筆集』

大西 民子／著 さいたま市立大宮図書館／編集
さいたま市教育委員会 2007年

舞

台はさいたま市

身近なあの場所が舞台となっている小説です。

『誘拐ラブソディー』

荻原浩／著 双葉社（双葉文庫） 2004年

借金を抱え自暴自棄になった秀吉は、偶然出会った子どもを誘拐し、人生最大の賭けに挑む。埼玉県内を縦横無尽に駆け巡る秀吉だが、実はその子どもの父親は…。たっぴり笑ってほろりと泣ける、ユーモア誘拐小説。

『ランドマーク』

吉田修一／著 講談社 2004年

大宮に建設中のスパイラルビル。ねじれ構造を持つ35階の超高層ビルが、設計士と鉄筋工、二人の男のゆがんだ人生模様を映し出す。

『レガッタ!』1～3巻

濱野京子／[著] 一瀬ルカ／画 講談社 2012年

県立浦和第一女子高校ボート部をモデルに描かれた熱きスポーツ小説。

『ああ玉杯に花うけて』

佐藤紅緑／[著] 講談社 2014年

旧制浦和中学を舞台に、友情や貧困、師弟愛などを描いた青春文学の金字塔。

このリストに掲載している本は、さいたま市図書館で所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町11-1

TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500